

京都市

農林業だより



発行 京都市産業観光局
農林部農業計画課

〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町
488番地 電話(075)222-3351

<http://www.city.kyoto.jp/sankan/nourin/index.html>

もり 森林を守って学校をつくろう！親子プロジェクト開催

～親子で間伐体験 切った木は新校舎の内装材に～



上手に切れるかな？

響きを立てて倒れる瞬間には、山深い森に子供たちの大きな歓声と拍手がこだましていました。切り倒した木は、約2mに玉切をして近くの林道沿いまで運び出しました。

平成16年10月31日、薄日のこぼれる左京区久多の市有林において、「森林を守って学校をつくろう！親子プロジェクト」が行われました。
この取組は、平成19年春に開校予定の京都市立下京中学校の地元・PTAの皆さんで組織される下京中学校開校委員会（委員長 篠原實氏）・市教育委員会・市林業振興課の主催で、京都市森林組合・京都大学農学部との協力を得て実施されたものです。統合する5つの中学校区内の子供たちとその保護者、森林ボランティアの大学生ら合わせて総勢104人が参加しました。
久多市有林に着いた一行は、森林を守るうえでの間伐の大切さや作業の説明を聞き、6つの班に分かれて木々の間に分け入りました。森林組合員の指導のもと約40～50年生のスギを一本ずつ伐採していきましました。最初はぎこちなかった「のこぎり」作業にもなれ、高さ10m以上もあるスギが地響きを立てて倒れる瞬間には、山深い森に子供たちの大きな歓声と拍手がこだましていました。切り倒した木は、約2mに玉切をして近くの林道沿いまで運び出しました。

トピックス

*森林を守って学校を作ろう！
親子プロジェクト

*園芸福祉の取組

*認定農業者になろう！

*ふれあい体験農場

*生産調整「産地づくり対策」

*農薬の特徴と使い方
～殺菌剤編～

*種子消毒剤配布取止め

*サルに負けない！

*旬野菜品評会結果発表



大人もチャレンジ！

参加者からは、「自分で切った木が校舎に使われるなんてスゴイ」「自然と環境を守る活動ができ、とてもうれしい」といった感想が寄せられました。この間伐材は森林組合が製材し、新校舎の床材や壁材などの内装材に使われます。
この取組を計画した下京中学校開校委員会の新校舎建設部長池田正治さんは「林業体験を通じて学校づくりにかかわった子どもたちが、自然や学校を大切にすることを養ってくれば」と話されていました。

京都市民の健康につながる園芸活動の推進「園芸を活かした健やかな市民生活検討会」の設置

土に触れ、愛情を持って植物の生長と向き合う園芸活動は、心身のリフレッシュや地域コミュニケーションの形成に役立つだけでなく、農業や環境に対する理解の促進にもつながります。また、長寿者や障害のある方の、心と体の健康維持や機能回復等にも大きな効果があると言われており、市民の関心が高まっています。



地元農家の指導のもと、農作業の技術習得に励む
白河総合養護学校の生徒

京都市が長寿者・障害者福祉施設を対象に行った園芸療法活動に係るアンケート調査によると、回答があった190施設のうち半数が園芸活動を実践しており、なかでも長寿者福祉施設での実践は73パーセント（53施設）にものぼっていました。また、園芸活動に取り組んでいる精神障害者福祉施設の8割以上から、「表情が明るくなった」などの回答が寄せられ、その有効性が確認されました。

このような園芸活動の有する多面的機能を健やかな市民生活に役立てるため、京都市では今年度、「園芸を活かした健やかな市民生活検討会」を設置しました。公募で選出された市民や農業関係者、園芸福祉関係者、学識経験者など15名の委員が参加し、「年齢の違いや障害の有無にかかわらず、生涯を通じて園芸活動に取り組むことで、世代を超えた人と人とのふれあいが生まれ、健康な生活を自然に送れるようになる。」といった意見が活発に交わされています。

3月には検討会からの提言書が出されることになっており、あらゆる人が園芸を楽しむことによって市民生活に潤いをもたらし、ひいては農業の振興につながるよう、京都市で

は、その内容を今後の施策に活用することとしています。



「園芸を活かした健やかな市民生活検討会」
第2回委員会の様子

〈お問い合わせ先〉

農林部農業振興整備課

(075) 222-3352

あなたも認定農業者になろう!

認定農業者とは?

みなさんは、農業を営む中で、自分の夢や将来の経営目標をお持ちだと思いませんか。このような目標を具体化して、数値と文字に表し、市町村の認定を受けた方を**認定農業者**と呼びます。認定を受けることで、将来の展望を具体化し、取り組むべき課題を再認識してもらうとともに、市町村としても「**農業のスペシャリスト**」として夢の実現に向けた支援を重点的に行うものです。



認定農業者愛称マーク

なぜ認定農業者制度が生まれたの?

農業の担い手不足が深刻化するなか、農業を職業として選択し得る魅力とやり甲斐のあるものにし、意欲と能力のある農業経営者を育成・確保していくことが農政の重要な課題となっています。

認定農業者制度は、こうした政策課題を解決するための中核的施策として位置づけられているもので、効率的かつ安定的な農業経営

を目指す農業者が、自らが立てた**農業経営改善計画**（5年後の**経営目標**）を市町村が「**農業経営基盤の強化の促進**に関する基本的な構想」（以下、「**基本構想**」とします。）に照らして認定し、その計画達成に向けて様々な支援措置を講じていくために制定されました。

どんな人が認定農業者になれるの?

本市の「**基本構想**」（平成17年1月改正）では、他産業従事者並みの生涯所得をあげ得る経営を育成するため、**農業経営改善計画の認定**（＝**認定農業者**）の要件を

- (1) 年間農業従事日数がおおむね150日以上
 - (2) 申請時の年齢がおおむね65歳以下
 - (3) 経営面積が本市平均経営農地面積以上
- （ただし、集約型経営及び畜産経営に特化しているもの等は、この限りでない）

とし、この要件を満たす者が、

- (1) 年間農業所得…主たる従事者1人当たり
（目標） 6百万円程度
- (2) 年間労働時間…主たる従事者1人当たり
（目標） 2千時間程度

の目標に向けて、自らの創意工夫により農

業経営の改善を計画的に進める農業者等と認められる場合としています。

認定農業者には

どんなメリットがあるの?

認定された農業者に対しては

- (1) 低利資金の融資
- (2) 税制の特例
- (3) 経営相談・研修
- (4) 機械等導入（リース）
- (5) 農地集積

等の各種施策を重点的に行うこととされています。

また、本市におきましては、**農業経営の改善**に向けた補助事業については、**認定農業者**を優先して実施しております。

自分の**農業経営**を見直すためにも**農業経営改善計画書**を作成してみたいか、詳しいは、**農業計画課**又は各**農業指導所**までお問い合わせください。

農業計画課	Tel 2 2 2 2	3 3 5 1
北部農業指導所	Tel 4 9 3	6 6 6 0
西部農業指導所	Tel 3 2 1	0 5 5 1
東部農業指導所	Tel 6 4 1	4 3 4 0

北区・上賀茂

「洛北ふれあい体験農場」は、北区の担い手農家からなる「洛北農業クラブ」の指導の下、聖護院だいこん・金時にんじん・みず菜の栽培を体験する季節限定の取組です。

昨年9月、多数の応募の中から市民30名が選ばれ、北区上賀茂の農場で活動をスタートさせました。この秋冬は、厳しい残暑や台風など農業には大変難しい天候でしたが、クラブ会員による丁寧な農場管理や入園者への親切な技術指導が報われ、立派な野菜ができました。

去る1月15日には、活動の集大成として「収穫交流会」を行いました。当日収穫した野菜は、フランス料理店「ルルソン・キ・ボア」の力をお借りして見事な創作料理へと変貌を遂げ、参加者



収穫野菜を使った創作料理



収穫終わってハイチーズ！

らは料理を堪能しながら、農場での思い出話に花を咲かせていました。入園者からは「自分で栽培し収穫する体験を通じて、身近にある農業や野菜に一層興味が湧きました」「今度は夏野菜にも挑戦したい」等の声が聞かれ、クラブの大口野容且会長は「今後も地域住民との交流を深め、農業に興味を持ってもらえる活動を続けていきたい」と話していました。

ふれあい体験農場

農作業を通じて市民の皆様へ農業への理解を深めていただく「ふれあい体験農場」。今年度も農家の皆さんの熱心な指導を受け野菜栽培や農園管理を通じ交流が広がりました。

山科区・西野山



農家による農作業の実演

東部農業団体連絡協議会では、平成15年度から「ふれあい」をテーマに、山科区西野山の農地で開設しています。

平成16年度は市民24名が参加し、8月下旬から白菜・長だいこん・九条ねぎ・ほうれんそうの4品目の栽培を開始しました。月2回の研修会には毎回多数の参加者が出席し、地元農業者による指導の下、熱心に取り組みました。

今年には特に9月の高温、度重なる台風による大雨、病害虫の大発生といった悪条件の中、各参加者とも苦労されましたが、11月下旬に開催した立毛品評会の時には、農場一面、立派な野菜畑となりました。今後も市民を対象とした笑顔の絶えない「ふれあい体験農場」づくりに取り組んでいく予定です。



おめでとうございます(立毛品評会表彰式)

地域の特徴を生かした水田農業を目指して

「産地づくり対策」

平成16年度から本格的に実施されている米政策改革では、平成22年までに「米づくりの本来あるべき姿」の実現を目指すこととなりました。

本市では、農業関係団体で構成する「京都市地域水田農業推進協議会」において、平成18年度を目標年次とする「京都市地域水田農業ビジョン」を策定し、地域の特性を生かした野菜生産の拡大を進めるため、「産地づくり対策」活動を推進しています。平成16年度については、次のような「産地づくり対策」活動を実施しました。

米の生産調整の円滑な推進

米以外の作物生産の推進、良好な水田環境の維持活動を実施しました。

担い手育成

農業経営基盤強化促進法に基づき認定農業者及び「京の旬野菜」認定農家の育成支援活動を実施しました。

地域水田農業を実施する地域活動の推進

地域特産物の消費拡大イベントや都市住民の農作業体験、新たな地域特産物の展示ほの設置等を委託しました（計14件）。

イベント



コスモス畑での地域特産物の即売

農作業体験



小学生を対象にセリ講習

展示ほの設置



幻想的なハスの花

平成17年産米の生産目標数量決定

平成16年産の米の生産目標数量（面積）については、農業者の懸命な努力と生産者団体の推進により、目標達成することができました。

平成17年産の米の生産目標数量については、京都府から下表のとおり配分がありました。

これを受けて、両農業協同組合から各農家へ目標面積の提示がされますので、対策の趣旨を御理解のうえ、水田農業の経営安定と農業構造改革の促進を図るため、「米の生産調整」の円滑な推進ができるよう引き続き御協力をお願いします。

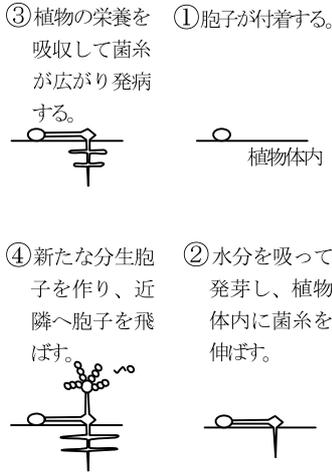
京都市における平成17年産米の生産目標数量 (目標面積)	(参考) 京都市における平成16年産米の配分実績	
	生産目標数量 (目標面積)	実施面積
5,872.2 トン (1,205.8ha)	6,036.0 トン (1,239.4ha)	1,070.8ha

農薬の特徴と使い方（殺菌剤編）

農薬を使用する場合は、薬剤の特徴、発生病害虫の種類、発生状況などを踏まえて、適切に散布することが大切です。殺菌剤を使用する場合は以下のことに注意しましょう。

《 病気はどのようにおこるの？ 》

病気は、糸状菌、細菌、ウイルス、マイコプラズマが原因となって発生します。よく発生する糸状菌（カビ類）の発生の仕組みは次のとおりです。



《 予防剤と治療剤の違いは？ 》

効く段階の違いから大きく予防剤と治療剤とに分かれます。

予防剤は、の期間に作用し、病気が発病するのを防ぎます。治療剤は、の期間に作用し、既に侵入した病原菌を殺して感染の拡大を抑えます。

《 どのように効くの？ 》

殺菌剤は種類によって効果が異なります。また、連用すると抵抗性が出やすくなるため、系統の異なる薬剤を使用しましょう。

殺菌剤の効果の例(一部)

- ① 植物体を強くして、耐病性を持たせる
抵抗性誘導剤、有機リン剤 など
- ② 病原菌の呼吸に影響し、窒息させる
ジカルボキシミド系薬剤 など
- ③ 病原菌の細胞分裂に影響し、成長させない
ベンゾイミダゾール系薬剤 など
- ④ 病原菌の骨格を作るのに欠かせない成分を作れなくして、弱らせる
エルゴステロール阻害剤 など
- ⑤ 植物体内への侵入に必要な成分を作れなくして、菌の侵入を妨害する。
メラニン合成阻害剤 など
- ⑥ 病原菌の遺伝子などに影響し、タンパク質（体の構成成分）を作れなくする。
抗生物質、アシルアラニン系薬剤

《 農薬のラベルを見ましょう！ 》

ラベルには、効果的な使用方法が記載されています。また、使用方法は変更されることがありますので、使用前には、必ずラベルを確認しましょう。

種子消毒剤配布の取止めについて



これまで水稲共済の損害防止事業の一環として、種子消毒剤「テクリードCフロアブル剤」を加入者のみなさんに配布していましたが、薬剤管理の問題や苗を購入する加入者の増加などの理由により、今春より取り止めることになりました。つきましては、種子消毒剤の手配等は各自でお願いすることになりますので、最寄りの農業協同組合等に御相談ください。

なお、今後の損害防止事業につきましては、各地域の実情にあった取組ができるよう、京都農業共済組合で、薬剤配布に代えて共同防除作業等への助成を検討中です。

具体的な内容につきましては、確定し次第、京都農業共済組合からお知らせする予定です。

京都農業共済組合

京都府船井郡園部町小山東町溝辺22番地2
電話 (0771) 633-2951
FAX (0771) 633-2955

サルに負けない! 久多のサル対策



京都市最北端に位置する左京区久多地域は、以前からニホンザルの群れが頻繁に現れ、苦勞して栽培した農作物を荒らされていましたが、久多の人々は「サルも生きていかなあかんから」と多少の被害には目をつぶっていました。しかし、ここ数年、被害はますます深刻となり、サルに荒らされたあとは何も残っていないという状況になってきました。そこで、一昨年から久多地区農用地利用組合が中心となって、サル対策に力を入れ始めました。まずは、集落にサルを呼び寄せる原因の一つと考えられる柿・クリ等の果樹の調査から始め、集落内の位置図を作成。現在は、その地図をもとにサルの集落内での動きとの関連性を調べたり、管理されていない果樹の伐採を検討しています。

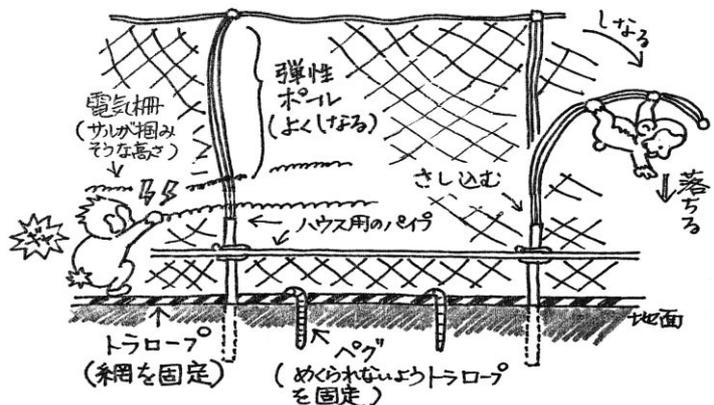
そして、もう一つの対策が柵による防除です。平成15年度から簡易弾性ポール柵「猿落君」の設置を進めてきました。しかし、この

柵を設置したサツマイモ畑でも、サルが網にぶら下がり、低くなっているとるを別のサルが飛び越えるという被害が発生してしまいました。そこで何とか身近なものを利用して改良できないかと、地元と指導所職員とが知恵を絞り、一般にイノシシ・シカ対策で利用される電気柵を組み合わせることにしました。まず、柵と地面の隙間をしっかりと太いロープなどで補強。次に、サルが網を掴みそうな高さにぐるりと電気柵を取り付けます。すると、登ろうとした途端、網と一緒に電気柵を掴み、電気が流れるという仕組みです。この方法なら、新しく資材を購入する必要もなく、今までの電気柵が有効利用できます。その後は被害もなく、無事に収穫することができたそうです。

この「猿落君」は、柵自体の値段も約500円/m（電気柵代別）と安く、費用がかか



電気柵を組合せた「猿落君」



図解 猿落君

るとされてきたサルの防除を安価で行うことができず。ただし、この柵は、完全に侵入できない柵ではありません。あくまで、侵入しにくいこと

をサルに学習させる、そして状況に応じて設置者の創意工夫が必要です。今回についても、一度は入られましたが、電気柵を組み合わせたという工夫により、被害をくい止めることができました。どんな柵にでもいえることですが、日々の管理と補修、そしてサルの観察が必要です。

久多のサルと人間との知恵比べはもうしばらく続きそうですが、やはり「サルに負けるものか」という熱意を持って取り組むことが一番大切なようです。

京の旬野菜品評会・市長賞表彰式開催

昨年11月3日、西京区大原野の「京の農林秋まつり」会場で7回目となる『京の旬野菜品評会』を開催しました。

当品評会は、本市で実施している「京の旬野菜推奨事業」の趣旨と制度を広く市民に啓発するとともに、生産者の旬野菜生産意欲及び栽培技術の向上を図ることを目的として開催したもので、京都市全域を対象とした唯一の品評会です。



市長賞を受賞された5組の皆さん



審査の様子

たにもかかわらず、131戸の農家から丹精込めて作られた見事な旬野菜が、243点出品されました。

どの野菜も甲乙つけがたく、並木審査員長も「この条件の中でこれだけの野菜が生産されたことに、京都市の農業の底力を感じます。」と感心されていました。

12月17日に京都市役所において開催した市長賞表彰式では、榊本京都市長からの「京野菜が京都の歴史の一端を担ってきたことを考えますと、私たちは京野菜を京都の誇りとして、将来にわたって守り育てていかねばなりません。」という激励の言葉に続き、市長賞受賞者の御夫婦に賞状と受賞作品を絵付けした清水焼の副賞が授与されました。

本年度は、夏以降の高温や多雨に加え、記録的な数の台風が上陸し、京都市内の農業に大きな被害があつ

特別賞を受賞された皆さん (敬称略)

京都市長賞	水本 修・いく子	総合部門	右京区太秦
	十塚 正次・秀子	長だいこん	北区大宮
	齋藤 治喜・なをみ	しろな	西京区大原野
	武村 友治・弘江	九条ねぎ(細)	伏見区深草
	高畑 一男・美津子	みず菜(小束)	伏見区羽束師
産業観光局長賞	高木 孝之	みず菜(大株)	伏見区下鳥羽
京都市農業委員長賞	樋口 昌孝	金時にんじん	北区大宮
京都市農業振興協議会長賞	山田 恵子	こまつな	右京区嵯峨
京都青果卸売会社協会会長賞	篠田 勇	ほうれんそう	右京区西院
京都野菜卸売協同組合理事長賞	多田 孝祐	みず菜(小束)	伏見区久我
京の旬野菜協会会長賞	石割 照久	ブロッコリー	南区吉祥院
	杉井 博	きくな	伏見区深草
審査員長賞	中島 典明	小かぶ	左京区修学院